

大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～に基づく
「人権の視点！100！」実行プログラム評価シート

所属名	副首都推進局	
	※日付入力→	令和8年3月30日 現在
<input checked="" type="checkbox"/> 実施年度	② 担当課名（担当者名）	③ 電話番号
7 年度	総務担当（窪）	6208-9514
実行プログラム（人権尊重の視点からの行政運営を推進するための取組み）について		
④ プログラムの名称	職員の人権尊重の意識向上と人権問題への対応体制の確認・維持	
⑤ プログラムの概要（実施者、対象者、場所、時期、内容など）	策定時（当初目標）	実施結果（実施後）
	<p>【実施者】 副首都推進局職員</p> <p>【対象者】 所属全職員</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務担当から所属職員に対し、ほかの人権研修の受講期間が重ならないよう、人権課題に関する周知・啓発の実施。 ・人権問題となりうる問題が発生したときの対応方法や問合せ事象に対する対応例等の周知を実施し再徹底。 ・広報業務を中心に、人権の視点での対応体制や発信内容を振り返る業務チェックを実施。 	<p>※当初目標どおりプログラムを実施</p> <p>【実施者】 副首都推進局職員</p> <p>【対象者】 所属全職員</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権課題に関する周知・啓発を実施。 ・人権問題となりうる問題が発生したときの対応方法や問合せ事象に対する対応例等の周知の実施。 ・各担当に対し、人権の視点での対応体制や発信内容を振り返る業務チェックを実施。
⑥ 行動（行為）目標／ 行動（行為）実績	<ul style="list-style-type: none"> ・当局のSNSアカウント発信による人権侵害事象0件 ・アンケートを実施し、取り上げたテーマや差別事象対応について理解している職員の割合100%にする。 ・業務チェックにより、各担当の対応体制や発信内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当局のSNSアカウント発信による人権侵害事象0件 ・アンケートにおいて、「よく理解できた」又は「ある程度理解できた」と回答した職員の割合が100%を達成。 ・業務チェックで、全ての担当から「人権侵害事象が発生していない」、「差別事象が発生した際の対応ができています」との回答を得た。

<p>⑦ 期待していた効果／ 実施後に判明した効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・局発信の広報媒体での人権侵害事象を生じさせない。 ・人権に対する理解を深め、人権尊重の意識向上を図ることが期待できる。 ・人権問題となりうる問題に対し、迅速かつ的確に対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての担当で、人権侵害事象が発生せず、差別事象が発生した際の対応体制が構築・維持されていることが確認できた。 ・人権に対する理解が深まり、人権尊重の意識向上を図ることができた。
-----------------------------------	--	--

⑧ 実施経過

上半期	4月	各担当のSNS発信等の総務担当による確認（通年）
	5月	
	6月	
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・総務担当から所属全職員に対し、「色覚の多様性」をテーマにした人権課題について動画により周知・啓発を行った。（アンケート含む） ・人権問題となりうる問題が発生したときの対応方法や問合せ事象に対する対応例等の周知を行った。（アンケート含む）
	8月	
	9月	
下半期	10月	
	11月	
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・広報業務を中心に、人権の視点での対応体制や発信内容を振り返る業務チェックを行った。 ・総務担当から所属全職員に対しメール等により再周知を行った。
	1月	
	2月	
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の取組みを踏まえ、人権行政推進委員会において本プログラムの振返りをを行った。

⑨ 市民・職員からの意見・感想など

○職員アンケート結果（対象者数：52名）
よく理解できた又はある程度理解できた：100%

⑩ 実施により強化できた「人権の視点！100！」の項目

策定時	伝える	聴く・知る	備える	支える	つながる	務める
	<small>（情報公開・広報）</small>	<small>（広聴）</small>	<small>（環境整備）</small>	<small>（行政サービス）</small>	<small>（協働）</small>	<small>（事業者としての責任）</small>
	○	○				○

※プルダウン選択	実施後	○	○				○
⑪ 策定時と実施後の評価を比較して上記のように分析した理由		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の人権問題への理解・促進が図られたことが確認できたため。 ・人権侵害事象を生じさせなかったため。 ・差別事象発生時の対応が維持されていることが確認できたため。 					
⑫ 項目別評価 ※プルダウン選択							
取組み内容	以下は、「人権の視点！100！」を踏まえた事業や取組みとして、「人権尊重の視点からの行政運営」を推進するためのものとなっていたかという点で、 <input type="radio"/> 取組み例としては一般的であった						
効果の程度	以下は、人権尊重の視点からの課題の解決、行政運営の実現にあたり、達成目標が明確であり、その効果が広く市民サービスの向上等に効果があったかという点で、 <input type="radio"/> 期待していたとおりの効果があった						
推進体制	以下は、策定した実行プログラムを遂行できる推進体制、進捗管理及び成果の検証方法が確立できていたかという点で、 <input type="radio"/> 遂行に支障のない程度の推進体制だった						
わかりやすさ	以下は、取組みの進捗状況や成果が、市民や職員にわかりやすく伝わったかという点で、 <input type="radio"/> おおむねわかりやすく伝わった						
普及性	以下は、取組み結果が特定の市民に有効なものではなく、検証や改善により幅広い市民や他の所属でも普及又は応用が可能なものであったかという点で、 <input type="radio"/> 所属内の他の業務には普及又は応用できる						
費用対効果	以下は、取組みのためにかかった費用又は職員の時間や負担に対して明確な効果があったかという点で、 <input type="radio"/> 期待していたとおりの効果があった						

評価の総括 ※所属人権行政推進委員会等として記入してください。

⑬ 実行プログラム全体を通して「人権尊重の視点」から評価できるところ	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の人権尊重の意識向上と人権問題への対応体制の確認ができた。 ・日常業務を改善・見直しする取組ができた。
⑭ 実行プログラム全体を通しての反省点	特になし。
⑮ 今回の評価結果を踏まえて所属の業務又は次期実行プログラムを改善するところ	R8.3.4の人権行政推進本部会議を受け、局の人権意識浸透に一層の取組が行えるよう実行プログラムの改善・見直しを行う。
⑯ 人権行政推進委員会等委員長（所属長）のコメント	